

## 目標達成計画

作成日: 平成 25 年 6 月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	「非常時災害対策」の地域との文章での明文化や備蓄等	地域の自治会や関連行政機関との「非常災害時対策の具体的な話し合い」を文章に明文化し、それを共有した連携・協力体制の構築を図り、災害時に必要と思われる備蓄の整備を進めていきます。	運営推進会議で課題として持ち上げ、地域の方と連携しながらマニュアルを作っていきます。備蓄品に関しては保管場所・管理体制を整備していきます。	3ヶ月
2	36	接遇マニュアル等を作成しての教育	入居者の一人一人の埃や、プライバシーを損ねない対人援助サービスの知識と技術を身につけるようにしていきます。	接遇マニュアルを作成し、月1回開催される各フロア会議やリーダー会議、施設内の勉強会を利用して、人格の尊重、対人援助サービスの知識と技術が身に付くよう、教育をしていきます。また、外部の講習会等への参加ができる環境を整えていきます。	2ヶ月
3	49	入居者の重度化が進み、車いすでの移動等、本人の希望に沿った支援が困難になっている。	入居者の希望する外出先や、楽しく満足度が高まるような取り組みを考えていきます。	家族やボランティアなどに依頼をして協力を仰いでいきます。外出先での事故や急変時に備えた連絡体制を整えていきます。また、医師等に相談しながらその方に合った外出先や方法を見直していきます。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。